

学校番号	中学5	学校名	茨城県立鹿島高等学校附属中学校
------	-----	-----	-----------------

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・未成年者市喫煙禁止法 ・未成年者飲酒禁止法 ・労働基準法 ・少年法 ・学習指導要領(平成29年7月告示) ・茨城県教育委員会施策 等		自 治 ・ 勤 勉 ・ 快 活		・本校への入学を希望し受検を経て入学してきた生徒であり、総じて意欲が高い。 ・多数の小学校から入学しているため、入学後の人間関係構築が重要となっている。 ・クラス替えがないため、友人関係等が一定になりがちである。 ・学習や行事等に積極的である。	
保護者の願い		学校の教育目標		地域の実態	
中高の6年間を通した継続的・計画的な学習ができること ・高校卒業後、上級学校進学などの進路希望を実現すること。		(1)道義と秩序を重んじ自己に責任を持つ。自主・自律生活の実践を図る。 (2)学問尊重と真理を求める気風の育成を図る。 (3)自他の敬愛と協力による豊かで快活な生活態度を樹立する。		・創立115年の伝統校であるため、保護者や地域の方々に本校の卒業生が多く、本校の教育に対する理解がある。	
各教科・科目		道徳教育重点目標		特別活動	
国語 日本の優れた言語文化を学ぶことで思考を深め、他者理解・自己表現能力を育成し生きる基礎力となる言葉の力を養う。		1 基本的生活習慣を確立し、心身共に健康的な生活の実現に努める。 2 他の人々の立場を理解し、感謝と思いやりの心を育む。 3 生命の尊さを深く理解し、自他の生命を尊重する態度の育成。 4 集団の意義についての理解を求め、役割と責任をもち、他者との協		・生徒がより良い学校生活を築くために、自主的に問題を見だし、協力して課題解決していくといった自発的、自治的な活動ができるようにする。 ・学年を越えた異学年での活動や行事を実施し、よりよい人間関係の形成、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会奉仕などに関わる道徳性の育成を図る。	
社会 我が国および世界の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解と認識を深め、自己の在り方生き方を自覚させる。		各学年ごとの指導の重点		総合的な学習の時間	
数学 数学的活動を通して論理的に考察する力を育成し、集団生活で直面した課題を自律的・協働的に解決する創造性を養う。		1年 ・整理・整頓、時間を守ることを通して生活習慣を確立させ、係活動を各自に割り振ることで責任感を育成する。 ・Classiの学習記録を習慣化することで、自己調整力を向上させ主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・特別活動の意味、目標を伝え、価値のあるものにするこ とで、積極的に参加する態度を育成する。		・自ら課題を見付け、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ・自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする心情を育てる。 ・体験活動と道徳の時間との関連を図った指導の充実に努める。 ・「地域」「キャリア」「国際」の3つを柱とする「KASHIMAメソッド」を意識して学び、道徳的な実践活動を充実させる。	
理科 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。自然の現象に関心をもち探究する能力と態度の育成を図る。		2年 ・毎日の清掃や時間を守るなどの生活のきまりを遵守することを通し、自律心と学級での共生意識を育む。 ・授業や家庭学習を大切にし、手帳などを用いることを通じて、自己調整力を向上させ主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・特別活動への積極的な参加・活動をとおして、適切な声かけを行い、生徒が自分の力を発揮できるよう支援する。		生徒指導	
音楽 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養う。		3年 ・毎日の清掃や時間を守るといった生活のきまりを遵守することを通し、学級での共生意識と自律心とを育む。 ・授業や家庭学習を大切にし、計画を立てて実行することを通して自己調整力を向上させ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・行事や特別活動への積極的な参加を通し、自分の力を発揮する場を見つけられるよう支援する。		・複数担任制によるきめ細やかな生徒理解に努め、心に寄り添った生徒指導を充実させる。 ・構成的グループエンカウンターを導入し人間関係づくりを醸成する。 ・規律を守る意義を理解し、社会の一員である自覚と責任感を持たせる。	
美術 美術の諸活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養う。		道徳の時間の指導方針		家庭・地域社会などとの連携	
保健体育 公正、協力、責任、参画に対し模範意識を養う。健康・安全を確保し生涯スポーツライフを継続する資質を育てる。		・生徒が自分自身のあり方を見つめ、自分に自信を持つと共に、他者への寛容な態度を実践し、多様性に富んだ社会をつくる姿勢を育成する。 ・自己の生き方についての考えや自覚を深め、話し合いを通して生徒が自己を見つめ、自らの行動や日常生活を見直すとともに、自ら時と場に応じた望ましい道徳的な行為がとれるような内面的自覚を促す。 ・生徒の発達の段階や特性等を考慮した指導の工夫と実践に努める。		・学校ホームページをはじめ、配信メールや、オンラインアプリを活用し、保護者が学校の様子を知ることができるよう努める。 ・地域の人材活用により、生徒本人の希望に合わせた地域密着型職場体験学習を実施する。 ・地域の研究機関や企業と連携し授業や校外学習を実施する。	
技術家庭 望ましい生活習慣を身に付け、勤労の尊さと社会生活の在り方を体験的に学び、実践できる態度を育てる。		学級・学校の環境の充実・整備			
外国語 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る実行力を身につけ、国際的視野に立って、進展するグローバル社会を主導していく能力を養う。		・中高6年間をつなぐ先取り学習、また少人数学習による生徒へのきめ細かな指導を実施する。 ・授業時間数増により、ゆとりのある学習を行い、定着を図る。 ・学習用の一人一台端末などを効果的に活用した最適な学びや授業により、生徒の理解度を高める。 ・人工芝多目的グラウンドや体育館等の共用施設を用いた中高合同の学校行事を通し、健やかな体と豊かな心を育成する。			
特色ある教育活動や体験活動					
・中学校段階で大学見学を行うなど、高等学校と連携したキャリア教育の推進を図る。 ・英語の授業時間数の増加と、ALTを含む複数担当者による授業や、オンラインでの英会話等を実施し、英語4技能(話す、聞く、読む、書く)の向上を図る。 ・他の県立併設型中学校との交流や合同行事を行う。					